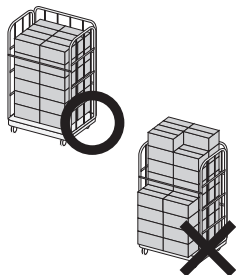


お願い事項

●安全に長期間ご使用頂くために次の事項を守ってください。



- 1 使用する前にボルトの緩み、変形、破損、腐食、溶接外れ等がないことを確認してください。
- 2 荷が台車からはみ出さないようにしてください。
- 3 移動する前には必ずストッパーの解除(OFF)を確認してください。
- 4 完全に停止するまで手を放さないでください。壁等に当てて停止させないでください。
- 5 キャスターの取付ボルトが緩む場合があります。定期的に点検して締め付けてください。
- 6 変形等によって生じた溶接外れの台車を使用しないでください。
- 7 台車を関係者以外に取扱わせないでください。
- 8 屋外で剥き出しの状態での保管は止めてください。一般の人が出入りする場所での保管は避けてください。
- 9 折りたたんで移動する時は台車が転倒する恐れがあるため、1台ずつ移動してください。一度に2台以上移動させると、手を挟んだり、思わぬ方向への移動や転倒してケガをする場合があります。
- 10 台車を安全にご使用頂くため、部品交換や修理につきましては、必ず製造・販売元へご連絡ください。
※仕様は予告なしに変更することがあります。



L型ロールコンビテナーシリーズ 取扱説明書

はじめに

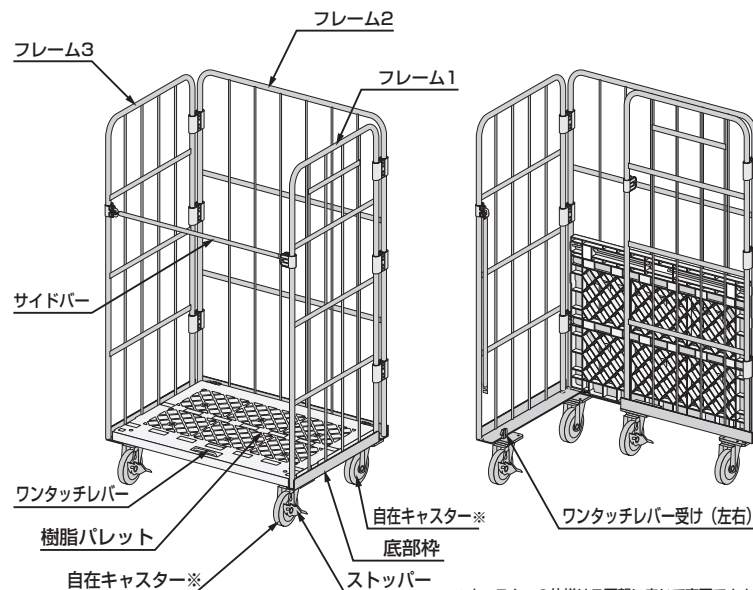
この度は「L型ロールコンビテナーシリーズ」をご使用頂き、誠にありがとうございます。本製品は、数多くの実績がありますが、より安全により長くご使用頂くためにも本取扱説明書に記載されている、警告表示や注意事項を必ずお守りください。
※お読みになった後はいつでも必要なときに取り出せるように、所定の場所に保管してください。

	危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定され危険発生時の緊急性が高い内容を示します。
	警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
	注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および、物的傷害のみの発生が想定されるを示します。

L型ロールコンビテナー 樹脂パレットタイプ

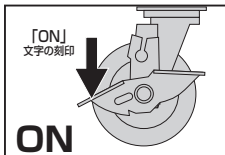
□組立状態

□折りたたみ状態

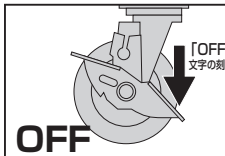


耐荷重は機種によって異なります。

キャスターロック方法



「ON」のペダルを踏むとロックされます



「OFF」のペダルを踏むとロックが解除されます

注意 必ず樹脂パレットを降ろした状態で操作してください。

※キャスターの仕様はご要望に応じて変更できます。

製造元

ヤマト・インダストリー株式会社

物流機器事業ユニット <https://www.yamato-in.co.jp>

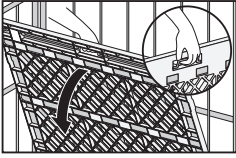
東京営業グループ 〒110-0015 東京都台東区東上野2-14-1
TEL 03-3834-3113 FAX 03-3834-4027

大阪営業グループ 〒541-0047 大阪市中央区淡路町1-4-10森井ビル
TEL 06-6208-3191 FAX 06-6208-3194

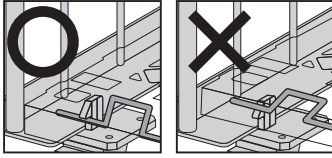
組立方法

次の方法で組立を行ってください。

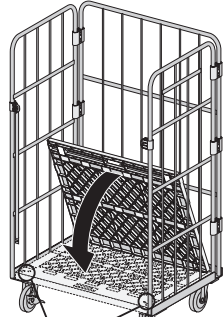
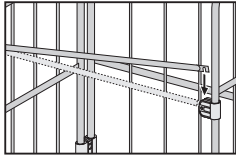
パレットを軽く手前に引き
支えながら倒してください



のぞき窓からワンタッチレバー受けにワンタッチ
レバーが引っ掛っているのを確認します



図の様に、サイドバーを差し
込んで完了です



のぞき窓 (左右)

※折りたたみは逆の手順で行ってください。
但し、パレットを跳ね上げる際はパレットの
ワンタッチレバーをつかんで持ち上げてください。

L型ロールコンビテナー スチールパレットタイプ

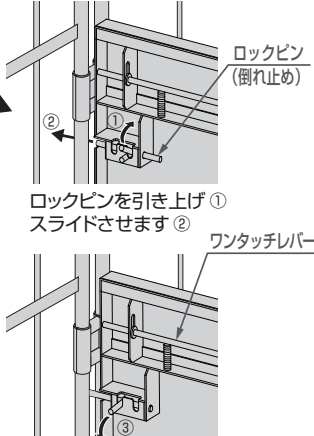
□ 組立状態

□ 折りたたみ状態



耐荷重は機種に
よって異なります。

パレット折りたたみ時固定方法



フレームの支柱間にロックピンを
差し込みロックします ③

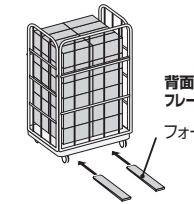
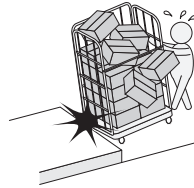
注意 必ずロックピンを
固定してください

- 1 組立は、パレット板のロックピンが左フレーム(フレーム3)にロックされていることを確認してから
右フレーム(フレーム1)を開いてください。パレット板が手前に倒れて怪我をする場合があります。
- 2 パレットを倒し、ワンタッチレバーを必ずロックしてください。
- 3 ワンタッチレバーが確実にロックされたかを確認してください。

警告

台車の安全な荷役・保管・陳列を行う上で、取扱いを誤ると使用者が死亡または重傷を負ったり、
台車の破損を招く恐れがありますので1~6を必ず守ってご使用ください

1. 最大積載荷重
 - 台車の耐荷重は仕様によって異なりますので、ご確認の上厳守してください。
 - 作業者の能力や床面の条件により積載量を調整してください。
 - 許容荷重を超えると作業性が低下したり、台車が破損することがありますので、絶対にお止めください。
2. キャスターのストッパー
 - キャスターのストッパーは気付かないうちに制動が甘くなっていたり、他の衝撃で不意に解除されてしまう場合があります。
 - 台車の走行時以外は必ずストッパーを掛け(ON)てください。
 - 屋外で強い風を受けると、台車が自走することがありますので、必ずストッパーを掛け(ON)てください。
 - 万一自走してしまった場合は無理に止めようとせず、声を出すなどして周囲の安全確保を最優先とってください。 **危険**
3. 傾斜面、凹凸面での移動
 - 傾斜面、凹凸面での移動は十分注意してください。
 - キャスターのストッパーを掛け(ON)でも、傾斜面での放置は絶対にしてしないでください。
 - 凹凸面や段差を無理に乗り越えると台車が転倒することがありますので危険です。
4. テールゲートリフト作業
 - 作業中に操作を誤ると大変危険です。必ずテールゲートリフトの取扱説明書を良く読み、熟知してから作業してください。
 - 作業手順を誤るとリフトから台車が落下して、思わぬ事故となる場合があります。
 - テールゲートリフト操作が行われている時は、必ず台車から離れてください。 **危険**
5. フォークリフト作業 **危険**
 - パレット板裏面のワンタッチレバーが左右フレーム(フレーム3および1)のワンタッチレバー受けに入っていることを確認してください。
 - ワンタッチレバーがロックされていることを確認してください。
 - フォークの差し込みは必ずフレーム2(背面)側から行ってください。
 - 必ず停止した状態で、台車の上げ降ろしをしてください。
 - 走行状態(ストッパーOFF)での上げ降ろしは、台車が予期しない方向へ移動して他の人に危険を及ぼしやすく台車を破損させる原因となります。
 - フォークリフト作業中にキャスターを破損することがありますのでご注意ください。
6. 本来の用途以外の使用禁止
 - この台車は荷役・保管・陳列用として設計、製造されています。それ以外の用途では絶対に使用しないでください。



注意

台車の安全な荷役・保管・陳列を行う上で、取扱いを誤ると使用者が重傷を負ったり、台車の破損や
物的傷害を招く恐れがありますので7~9を必ず守ってご使用ください

7. 荷物の積みつけ
 - キャスターのストッパーを掛け(ON)、下段に重くて大きな物を上段には軽く小さなものを積んでください。
 - 上部が重くなっていると、段差、障害物を乗り越える時に、台車が転倒することがあります。
 - サイドバーを装着したまま作業をすると頭部をぶつけることがあります。
8. 台車の移動作業
 - 台車の取り扱いの際は、手を挟まないよう十分ご注意ください。
 - 台車の移動は必ず、サイドバーを装着し、両手で左右の外側の太いパイプをにぎり、前方の視界を確認しながら押してください。
 - 特に4輪自在は傾斜面では斜めに走行することがあります。二人で作業するなどしてください。
 - 台車を引っ張って操作する事は原則として禁止です。パレット板や底部分、またはキャスターに足を巻き込まれて、怪我をすることがあります。
 - サイドバーを装着しないで台車を移動すると、破損する恐れがあります。
 - サイドバーを引っ張って台車を移動すると、破損する恐れがあります。
9. 配送車への積みつけ
 - 荷台上での台車の移動及び転倒防止のため、ラッシングベルト等で必ず固定してください。大型車は必要に応じてラッシング等の固定箇所を増やしてください。
 - 荷台の途中に一時的に台車を放置したり、ラッシング等の固定をしない状態で配送車の移動等はしないでください。
 - 強くラッシングすると、フレームが変形してしまうことがあるので、当て板を使用したり、フレームの下部でラッシングしてください。

